

I. 次の楽曲はベートーヴェン作曲、弦楽四重奏曲 op. 18 No. 3 第2楽章の一部分です。下記の問いに答えなさい。

1. ①～⑧の音程を答えなさい。また、①～④は転回音程になるように、下に書かれている音の上に全音符を書きなさい。なお、転回音程について、複音程は単音程に直して答えること。

①		②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	

(転回音程)

2. 次の(a) (b)で示される音階を、調号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。旋律短音階は上行形と下行形の両方を書くこと。

(a) ⑦を第Ⅲ音とする長音階

(b) ⑦を下属音とする短調の属音を主音とする旋律短音階

3. 次の(c) (d)で示される音階を、調号を用いずに右の五線に主音から上行形で書きなさい。

(c) ⑦を導音とする和声短音階

(d) ⑤を属音とする長音階

II. 次の楽曲について、下記の問いに答えなさい。

1. (1)～(5)の和音について、種類と転回形を答えなさい。

- (1) 種類 _____ 転回形 _____ (2) 種類 _____ 転回形 _____
(3) 種類 _____ 転回形 _____ (4) 種類 _____ 転回形 _____
(5) 種類 _____ 転回形 _____

2. 次の文中の《 》に関係調の名称を、[]に調名を、()に和音の種類を書き入れなさい(短調は和声短音階とする)。

- a. (2)の和音の第五音を導音とする長調の《 》はロ短調である。
b. (4)を下属和音とする調の同主調は[]である。
c. (3)をⅡ度の和音とする調の調号を下の五線に書きなさい。また、その調を属調とする調は[]である。

- d. 長音階の音階上にできる三和音の種類をそれぞれ答えなさい。
- I { } II { } III { } IV { }
V { } VI { } VII { }

III. 次の楽語の意味を右から1つ選び、その番号を書きなさい。

quasi		意味：	1. ほどよくゆっくりと	8. あるいは・または
con moto			2. 快速に	9. ～のように
Allegro			3. 単純に	10. 決然と
risoluto			4. 輝かしく	11. 悲しげに
senza sordino			5. ただちに遅く	12. 愛情を込めて
dolente			6. 次第に遅く	13. 弱音器・弱音ペダルを使用して
ritenuto			7. 動きをつけて	14. 弱音器・弱音ペダルを使用しないで

IV. 次の旋律A Bの調名を答えなさい。また、楽曲Cは転調しています。(い)～(に)の部分の調名をそれぞれ答えなさい。

A

B

C

(い) (ろ)

Allegro non tanto

(は) (に)

A _____ B _____

C (い) _____ (ろ) _____

(は) _____ (に) _____